

【授業科目】 経済学 Economics

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
鶴田 利恵	1年次後期	選択	1	15	講義			可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／この授業では、経済の基本的な用語を理解し、経済活動がどのように行われているのかを自分なりに考える力を修得する。また、新聞記事を用いて現実の経済に関する理解を深める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、授業時に全体の総評コメントを行う。</p>							
授業の 位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	<p>①経済の基本的な用語を習得する。 ②経済に関する新聞記事の内容を習得する。 ③経済問題について、自分なりに考え表現できる力を習得する。</p>							
時間外学習に 必要な学修内容 および 学習上の助言	<p>事前学習：資料を事前に読んでおく（60分）、ニュースに目を通す（60分）。 事後学習：講義で学んだことの振り返りを行う（120分）。 さらに学習を深めたい場合には、資料・参考書等を紹介いたします。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 景気が良いとか悪いとかとはどういうこと？～重要なのは消費者～</p> <p>第3回 企業や政府の行動はどのように経済に影響を与える？～投資や財政の役割～</p> <p>第4回 景気をよくするにはどうすればよい？～財政政策の意味～</p> <p>第5回 金利は誰が決定している？～金融政策の意味～</p> <p>第6回 貿易が活発になると私たちの暮らしも豊かになる？～自由貿易の重要性～</p> <p>第7回 為替レートの変化は私たちにどんな響を与える？～貿易や旅行から考える～</p> <p>第8回 まとめ</p>							全て 鶴田
評価方法 評価基準	<p>授業後の小レポート（or 小テスト）30%、定期試験70%</p>							
教科書	なし			参考書等	<p>家森信義(著) 『マクロ経済学の基礎 第2版』中央経済社</p>			
学生への メッセージ	<p>経済は複雑で難しいと思われがちですが、いくつかの仮定を置いて単純化して考えると意外にシンプルです。あとはそこに肉付けをしていけばよいだけです。 皆さんの周りで起きている経済事象を理解できる力を身につけましょう。</p>							